

取り決め事項(案)

1. 大会エントリー（トーナメント出場可能選手登録）

- ①大会エントリーは、選手18名以内、スタッフ（部長・監督・コーチ・アシスタントコーチ・主務・トレーナー 各1名）6名以内とする。但し、スタッフの名称は部長・監督以外は各チームによって変更も可能である。また、部長が監督を兼務している場合は1名として数える。スタッフは最低でも1名を登録すること。また、スタッフ以外に、試合毎に2名以内をコンディショニングスタッフとして申請できる。但しベンチに入ることができないので、ピブスを持参しベンチ後方にてサポートすること。
尚、締め切り後の登録変更は一切認めない。
- ②未登録選手は、人数に制限なく登録することができる。指定期日前であれば、新入部員に限り、未登録選手または大会登録選手として追加登録ができる（大会登録選手数が18名に満たないチームに限り、新入部員を選手として追加登録することができる）。
- ③大会エントリーの際、主将（キャプテン）を一番前に置く。その他の記載順は番号順とする。
- ④ユニフォームの番号は1～99番までと、0番または00番を使用できる。但し、大会期間中同一番号とする。
- ⑤外国人選手および留学生選手のエントリーは、数に制限は設けない。但し、競技中コートで同時にプレイできる外国人選手は1名とする（オンザコート1）。

2. ゲームエントリー（ゲーム出場可能選手登録）

- ①ゲームエントリーは、選手18名以内とする。
- ②未登録選手は、試合毎に5名までゲームエントリーすることができる。但し、番号登録されている選手の番号の変更、追加エントリー及びスタッフの変更は認めない。
- ③（一財）全日本大学バスケットボール連盟の規定により、外国人競技者とみなされる選手については、大会登録での人数に制限は設けませんが、競技中コートで同時にプレイできる外国人選手は1名（オンザコート1）とする。
- ④日本国籍を持たなくても、「教育基本法」・「学校教育法」で定める日本での小学校教育及び中学校教育・中等教育学校の前期部分（義務教育）を修了したものは、日本人選手と同等と見なす。

3. ユニフォーム

- ①ユニフォームは原則として、組み合わせ番号の小さいチームが淡色（白色）、大きいチームが濃色を着用する。
（但し、2回戦目からは当事校間の話し合いにより大会本部の了承を得た上で変更してもできる）
- ②リバーシブルシャツをユニフォームとして使用することはできない。
- ③ユニフォームの下にTシャツ着用することは認めない。
- ④ユニフォームシャツからはみ出してしまう上半身・腕用のサポーター様のもの（パワーサポーター・パワースリーブ・通常のサポーターも含む）を着用する場合、淡色（白色）の場合はユニフォームと同色、濃色の場合は同色または黒色を着用することができる。
- ⑤ユニフォームパンツの下にパンツより長いパンツ様のもの（パワータイツ・アンダーガーメント）は同色であっても認められない。
- ⑥原則として、パンツの長さは膝上までとし、膝頭にかかってしまうパンツはユニフォームとして認められない。

4. 棄権チーム

- ①何らかの理由でやむを得ず棄権しなければならない場合は、必ず前日までに、本連盟に電話連絡し、承認を得ること。
- ②試合開始予定時刻より15分遅れた場合は棄権とみなす。
- ③無断で棄権した場合は、本連盟の理事会にて処分を決定する。
- ④ゲームを棄権しても割り当てられたテーブル・オフィシャルズや会場の係は行うこと。
- ⑤本連盟以外が主催する大会に出場するための棄権は一切認めない。

5. 練習

- ①ベンチ後方にてコンディショニングスペースを設ける場合、その区域でアップをすること。但し、ハンドリングはよいが、ドリブルをつくなどの行為を禁止とする。
- ②1stステージのみハーフアップを行うことができる。但し、会場にアップ場がある場合はハーフアップを行わない。
- ③没収試合または棄権等が生じたコートでの練習は、定刻開始20分前から使用可能とし、そのコートでのボールの使用は、10分前からとする。

6. 注意事項

- ①ゲームが定刻通りに始められない場合、前ゲーム終了から10分後に開始する。
- ②テーブル・オフィシャルズ及び会場の係は、試合開始の10分前までに、それぞれの位置につくこと。
- ③なお、テーブル・オフィシャルズ及び会場の係を怠った場合、協議により処分の対象となる。
- ④6位以上のチームは、表彰式に必ず参加すること。
- ⑤最終ゲーム全てのチームと係のチームは、会場の後片付けをすること。
- ⑥ゴミは各チームで持ち帰ること。
- ⑦その他各会場の注意事項を厳守すること。

上記以外のルール及び諸問題については、「2018～バスケットボール競技規則」、(公財)日本バスケットボール協会の諸規定に基づき、本連盟が判断する。